



平成16年9月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成16年7月15日

上場会社名 ファイナンス・オール株式会社

上場取引所

大阪証券取引所

コード番号 8437

（ヘラクレス）

（URL <http://www.financeall.jp/>）

本社所在都道府県 東京都

代表者 役職名 代表取締役COO 氏名 伊藤 雅仁

問合せ先責任者 役職名 取締役CFO 氏名 城戸 博雅

（TEL：03-6229-0816）

1 第3四半期財務・業績の概況の作成等に係る事項

① 会計処理の方法の最近連結会計年度における方法と
の相違の有無

② 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況

：連結子会社2社増加（当中間連結会計期間末との比較）

2 平成16年9月期第3四半期の財務・業績概況（平成15年10月1日～平成16年6月30日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満を切り捨てて表示しております。）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年9月期第3四半期	7,569	32.0	714	223.0	702	249.5	464	893.0
15年9月期第3四半期	5,736	—	221	—	201	—	46	—
（参考）15年9月期	7,577		297		241		64	

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
16年9月期第3四半期	2,588	51	2,400	48
15年9月期第3四半期	328	39	—	—
（参考）15年9月期	451	83	425	84

（注）1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

2. 平成15年9月期から四半期決算を導入しているため、平成15年9月期第3四半期の対前年同四半期比増減率の記載を省略しております。

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年9月期第3四半期	14,284	6,734	47.1	34,944 95
15年9月期第3四半期	12,817	2,592	20.2	18,208 09
（参考）15年9月期	13,035	3,328	25.5	20,002 37

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末（期末）残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年9月期第3四半期	2,208	△116	△339	3,214
15年9月期第3四半期	2,668	△217	△2,762	832
（参考）15年9月期	3,372	△185	△2,892	1,438

上記の平成15年9月期第3四半期及び平成15年9月期における1株当たり情報は、平成15年12月22日付の株式分割（1：4）が平成15年9月期の期首に行われたものとして遡及計算しております。

3 平成16年9月期の業績予想（平成15年10月1日～平成16年9月30日）

平成16年7月12日に公表しました連結業績予想、単体業績予想に変更はありません。

1. 経営成績及び財政状態

(1) 経営成績

当第3四半期の連結業績は、売上高7,569百万円（前年同期比32.0%増）、営業利益714百万円（同223.0%増）、経常利益702百万円（同249.5%増）、四半期(当期)純利益464百万円（同893.0%増）となりました。

当社グループの事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

当第3四半期（自平成15年10月1日 至平成16年6月30日）

（単位：千円）

	ファイナンシャル・マーケットプレイス事業	ファイナンシャル・プロダクト事業	ファイナンシャル・ソリューション事業(注)	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,172,945	5,687,300	682,607	27,005	7,569,859	—	7,569,859
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	10,075	3,612	64,445	3,680	81,812	(81,812)	—
計	1,183,020	5,690,913	747,052	30,685	7,651,672	(81,812)	7,569,859
営業費用	802,372	5,360,315	605,388	44,344	6,812,421	42,584	6,855,005
営業利益	380,648	330,597	141,663	△13,659	839,250	(124,396)	714,853

（注）1. ファイナンシャル・ソリューション事業は、連結子会社2社（㈱テックタンク及びベリトランス㈱）の増加に伴い、平成15年10月から新たに追加した事業区分であります。また、平成16年5月に設立した㈱ファイナンス・オール・ソリューションズは、当該事業区分を構成しております。

2. 各事業の主なサービス

- (1) ファイナンシャル・マーケットプレイス事業 …… インターネットを通じた保険・ローンに関する情報提供サービス等
- (2) ファイナンシャル・プロダクト事業 …… 住宅ローンの提供、リース業等
- (3) ファイナンス・ソリューション事業 …… ソフトウェアの開発・販売、メンテナンスサービスの提供及びEC（電子商取引）店舗・モールを対象としたオンライン決済サービスの提供等
- (4) その他の事業 …… 保険代理店、インターネットを通じたローン媒介業等

前第3四半期（自平成14年10月1日 至平成15年6月30日）

（単位：千円）

	ファイナンシャル・マーケットプレイス事業	ファイナンシャル・プロダクト事業	—	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	786,471	4,922,589	—	27,133	5,736,194	—	5,736,194
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,718	1,379	—	1,000	5,097	(5,097)	—
計	789,189	4,923,968	—	28,133	5,741,292	(5,097)	5,736,194
営業費用	537,977	4,865,128	—	29,347	5,432,453	82,390	5,514,844
営業利益	251,212	58,839	—	△1,214	308,838	(87,487)	221,350

【ファイナンシャル・マーケットプレイス事業】

当セグメントの直近3ヶ月間の活動においてもブロードバンド利用者の増加を背景に顧客チャネルの拡大に注力し集客力を強化したことから、インズウェブ事業部、イー・ローン事業部ともに順調に保険見積件数、ローン仮申込件数を増加させることが出来ました。

インズウェブ事業部では、インターネット市場におけるポイントプログラム提供の㈱ネットマイルの「ネットマイル保健サービス」に自動車保険一括見積システムを提供し顧客層を拡大すると共に、生命保険等一括資料請求サービスに新検索機能「保険きま〜る」を追加しユーザー利便性を向上させました。

イー・ローン事業部ではキャッシング/カードローン商品の情報収集/申込みの専門サイト「キャッシングジャパン」を新設しユーザー利便性を向上させると共に、商品ラインアップにおいては㈱ステーションファイナンス、㈱イッコー、エー・シー・エス㈱の新規参加により、参加金融機関51社と更なる充実を図りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,183百万円（前年同期比49.9%増）、営業利益は380百万円（同51.5%増）となりました。

なお、平成16年6月29日に株式交換により連結子会社となった㈱インターアイの経営成績は、当第3四半期の連結業績に含まれておりません。

【ファイナンシャル・プロダクト事業】

当セグメントの直近3ヶ月間の活動において、グッドローン㈱は、㈱アイフルホームテクノロジーとの業務提携、ヤフー㈱との提携キャンペーン、夏の借換金利優遇キャンペーンなどの実施により住宅ローン取扱件数の増強に努めました。平成16年6月末現在の融資残高は374億円を達成し、前年同期に比べ売上高、利益共に大きく改善しました。

ウェブリース㈱は引き続き堅調に推移しているヤフーBBのブロードバンドインフラ関連案件に加え、ケーブルTVなどのブロードバンドコンテンツ向けの案件等の取扱額を順調に伸ばしております。

これらの結果、当セグメントの売上高は5,690百万円（同15.5%増）、営業利益は330百万円（同461.8%増）となりました。

【ファイナンシャル・ソリューション事業】

当セグメントの直近3ヶ月間の活動において、ベリトランス㈱は、インターネットユーザーの増加、電子商取引の浸透から契約店舗数・取引数を安定的に増加させ、5月より国内最大級のオークション/ショッピングサイト「ビッダーズ」の2,000を越える店舗に専用クレジットカード決済サービスを提供開始するなど、新規顧客獲得に注力しています。

㈱テックタンクは口座一元管理システムであるMoneyLookの拡販に努め6月末現在の会員数を約20万人とする一方、新たなスポンサー獲得にも注力しております。またMoneyLook以外にもグループ内外のシステム構築案件に積極的に取り組んでおります。

平成16年5月に設立したFinance All Solutions Co.,Ltd.は、韓国において主に金融分野におけるシステム開発事業の準備を進めておりますが、その経営成績は当第3四半期の連結業績に含まれておりません。

これらの結果、当セグメントの売上高は747百万円、営業利益は141百万円となりました。

なお、当セグメントは、連結子会社の増加に伴い新たに追加した区分であるため、前年同期比較についての記載は行っておりません。

【その他の事業】

当セグメントでは、ファイナンス・オール・サービス㈱の保険代理店収入が安定的に推移いたしましたが、ホームローン・コンサルティング㈱は5月の本格営業開始後インターネット・雑誌などを通したプロモーションを先行させ認知度を高めておりますが、当第3四半期の業績への寄与はまだありませんでした。

これらの結果、当セグメントの売上高は30百万円（前年同期比同9.0%増）、営業損失は13百万円となりました。

(2) 財政状態

当第3四半期末の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は1,249百万円増加し14,284百万円、株主資本は3,406百万円増加し6,734百万円となりました。また、株主資本比率は21.6%上昇し47.1%、1株当たり株主資本は14,942円58銭増加し34,944円95銭となりました。

当第3四半期の連結キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年第3四半期に比べ459百万円減少し、2,208百万円となりました。この主な要因は、税金等調整前中間純利益は695百万円で、496百万円増加したものの、連結子会社ウェブリース㈱における賃貸資産（リース資産）の新規取得が順調であったため、かかる現金支出が増加し同資産の取得額（マイナス要因）が547百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

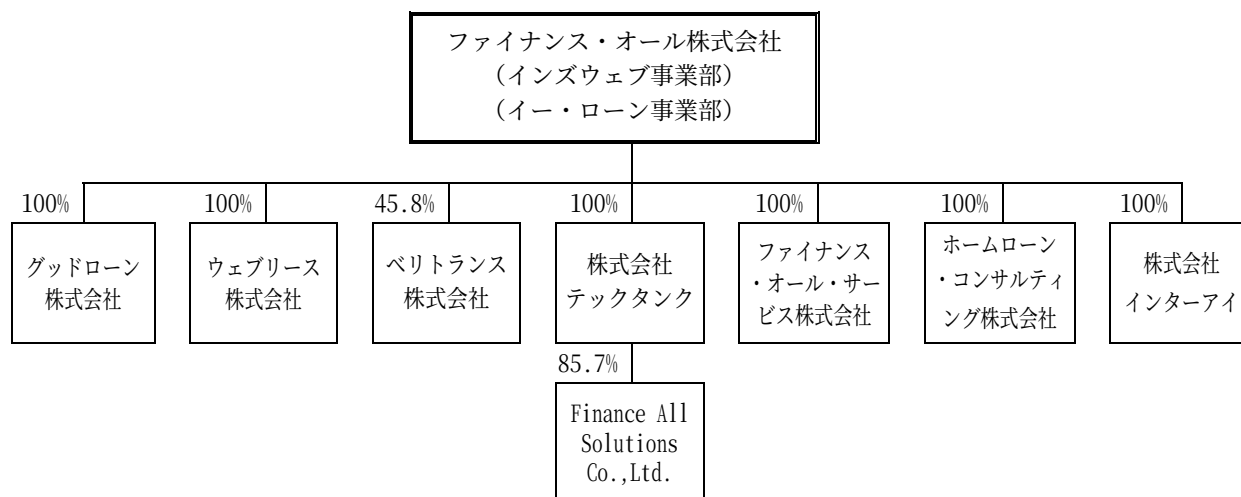
当第3四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年第3四半期に比べ100百万円増加し、△116百万円となりました。この主な要因は、有形・無形固定資産の取得額（マイナス要因）が66百万円減少したことによるものです。なお、当第3四半期中に㈱テックタンク、ベリトランス㈱の株式を550百万円で取得いたしました。両社の保有していた現金及び現金同等物が586百万円であったため、差額の36百万円を「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得」に記載しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、前年第3四半期に比べ2,423百万円増加し、△339百万円となりました。この主な要因は、株式の発行による収入が2,557百万円となったことによるものです。

2. 企業集団の状況

平成16年4月1日から平成16年6月30日までに、連結子会社2社を新たに当社グループに加えました。この結果、新規連結子会社を含む当社グループの組織形態及び当社グループのセグメントを構成する会社名等は以下のとおりとなっております。



セグメント名	セグメントに属する会社名、事業部名
ファイナンシャル・マーケットプレイス事業	インズウェブ事業部 イー・ローン事業部 株式会社インターアイ
ファイナンシャル・プロダクト事業	グッドローン株式会社 ウェブリース株式会社
ファイナンシャル・ソリューション事業	株式会社テックタンク ベリトランス株式会社 Finance All Solutions Co.,Ltd.
その他の事業	ホームローン・コンサルティング株式会社 ファイナンス・オール・サービス株式会社

新規連結子会社2社について（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

① 株式会社インターアイ

当社は、平成16年5月11日開催の取締役会において、㈱インターアイを株式交換により完全子会社化することを決議し、株式交換契約を締結、平成16年6月29日に株式交換を完了いたしました。

㈱インターアイは、インターネット上で引越し見積もりサービス、格安航空券一括見積もりサービス、レンタルサーバー一括見積もりサービス、ピアノ買取一括見積もりサービス、チケット流通サービスなどの生活関連情報の比較・検索・一括見積もりサービス等を幅広く展開しており、この分野の先駆的企業として既に相応の事業基盤を有しております。

当社は、インターネットを活用した自動車保険一括見積もりサービス、生命保険等一括資料請求サービス、ローン商品の一覧比較・検索及び仮申込みサービスを提供する金融商品のマーケットプレイス事業（比較・検索市場の提供）を手掛けております。

㈱インターアイを完全子会社化することにより、金融商品やローン商品のマーケットプレイス事業で培ってきた経験やノウハウを金融の分野に限らず、幅広く生活関連情報サービス全般に活用することで、当社グループの事業基盤・顧客基盤の一層の拡大を図りたいと考えております。

また、インターネットを通じた生活関連情報サービス全般におよぶ総合イー・マーケットプレイス事業へ布石を打つとともに、今後、㈱インターアイを核に様々な生活関連情報提供サービスを追加・拡充することで、インターネット上の財・サービスの流れと金融事業との融合による新たな収益機会を追求していきたいと考えております。

なお、(株)インターアイの経営成績は、当第3四半期の連結業績に含まれておりません。

② Finance All Solutions Co.,Ltd. (株式会社ファイナンス・オール・ソリューションズ)

当社の子会社である(株)テックタンクは、平成16年5月に大韓民国（以下、「韓国」）における現地法人として、85.7%出資により「Finance All Solutions Co.,Ltd.」（(株)ファイナンス・オール・ソリューションズ）を設立いたしました。

(株)テックタンクは、これまで日本国内において、主要な事業のひとつとしてアカウントアグリゲーションサービス※1を提供しており、その利便性の高いソフトウェア「Money Look」は、韓国の技術をベースに構築されております。

今回、(株)テックタンクは、ブロードバンド先進国である韓国の特に進んだ金融関連ITソリューション技術の一層の活用および自社における集積を効率的に図るため、現地の有能な技術者を招きITソリューション会社

「Finance All Solutions Co.,Ltd.」を設立することいたしました。同社は、今後、韓国において主に金融分野におけるシステム開発事業を展開していく予定であり、準備を進めております。また、すでに(株)テックタンクが国内において着手しているイー・トレード証券(株)向けのリアルタイム証券取引を可能とするHTS※2の開発についても協業していく計画となっております。

さらに、将来的には日本、韓国だけではなく、中国におけるビジネス展開も視野に入れており、同社を核にアジアにおける商圈を拡大していきたいと考えております。

※1. アカウントアグリゲーションサービス＝銀行や証券会社などの複数のサイトのID、パスワードを一括管理できる口座一元サービス

※2. HTS＝ホームトレーディングシステム。リアルタイムでの取引を可能とするソフトウェアベースの個人用証券発注システム

(添付資料)

第3四半期連結財務諸表

(1) 第3四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

区 分	前年第3四半期末 (平成15年6月30日)		当第3四半期末 (平成16年6月30日)		対前年同期比		(参 考) 前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成15年9月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
1. 現金及び預金	832,632		2,805,852				1,438,239	
2. 売掛金	245,816		489,326				329,613	
3. 割賦債権	216,278		125,306				194,396	
4. 営業貸付金	53,900		204,500				105,900	
5. 貸付債権信託受益権	—		339,506				—	
6. 有価証券	—		103,213				—	
7. 短期貸付金	—		300,000				—	
8. その他	156,220		252,545				132,253	
貸倒引当金	△1,819		△21,344				△2,020	
流動資産合計	1,503,028	11.7	4,598,907	32.2	3,095,878	206.0	2,198,382	16.8
II 固定資産								
1. 有形固定資産 ※1								
(1) 賃貸資産 ※2	9,939,857		7,743,452				9,386,593	
(2) その他	70,580		94,887				66,528	
計	10,010,438	78.1	7,838,340	54.9	△2,172,097	△21.7	9,453,122	72.5
2. 無形固定資産								
(1) 連結調整勘定	—		461,770				—	
(2) 賃貸資産 ※2	583,646		568,063				621,076	
(3) その他	576,770		582,413				556,408	
計	1,160,416	9.1	1,612,247	11.3	451,830	38.9	1,177,485	9.1
3. 投資その他の資産	143,152	1.1	201,414	1.4	58,262	40.7	184,542	1.4
固定資産合計	11,314,007	88.3	9,652,002	67.6	△1,662,004	△14.7	10,815,149	83.0
III 繰延資産	882	0.0	33,970	0.2	33,088	—	22,116	0.2
資産合計	12,817,918	100.0	14,284,880	100.0	1,466,961	11.4	13,035,648	100.0

(単位：千円)

	前年第3四半期末 (平成15年6月30日)		当第3四半期末 (平成16年6月30日)		対前年同期比		(参 考) 前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成15年9月30日)	
区 分	金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%		%
I 流動負債								
1. 買掛金	287,403		284,597				372,438	
2. 短期借入金	4,510,000		5,577,500				8,130,000	
3. その他	579,390		1,237,349				814,084	
流動負債合計	5,376,793	42.0	7,099,447	49.7	1,722,653	32.0	9,316,522	71.5
II 固定負債								
1. 長期借入金	4,767,500		—				310,000	
2. その他	81,083		1,561				81,050	
固定負債合計	4,848,583	37.8	1,561	0.0	△4,847,022	△100.0	391,050	3.0
負債合計	10,225,377	79.8	7,101,008	49.7	△3,124,368	△30.6	9,707,573	74.5
(少数株主持分)								
少数株主持分	—	—	449,524	3.2	449,524	—	—	—
(資本の部)								
I 資本金	1,112,000	8.7	2,670,006	18.7	1,558,006	140.1	1,367,000	10.5
II 資本剰余金	1,368,000	10.6	3,469,567	24.3	2,101,567	153.6	1,830,600	14.0
III 利益剰余金	112,540	0.9	594,772	4.1	482,231	428.5	130,474	1.0
資本合計	2,592,540	20.2	6,734,346	47.1	4,141,805	159.8	3,328,074	25.5
負債、少数株主持分及び資本合計	12,817,918	100.0	14,284,880	100.0	1,466,961	11.4	13,035,648	100.0

(2) 第3四半期連結損益計算書

(単位：千円)

区 分	前年第3四半期 (自平成14年10月1日 至平成15年6月30日)		当第3四半期 (自平成15年10月1日 至平成16年6月30日)		対前年同期比		(参 考) 前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成14年10月1日 至平成15年9月30日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増減額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	5,736,194	100.0	7,569,859	100.0	1,833,664	32.0	7,577,577	100.0
II 売上原価	4,433,497	77.3	4,997,933	66.0	564,435	12.7	5,762,210	76.0
売上総利益	1,302,697	22.7	2,571,926	34.0	1,269,229	97.4	1,815,367	24.0
III 販売費及び一般管理費 ※1	1,081,346	18.8	1,857,072	24.6	775,725	71.7	1,517,947	20.1
営業利益	221,350	3.9	714,853	9.4	493,503	223.0	297,420	3.9
IV 営業外収益								
1. 受取利息	47		1,280				49	
2. 団体信用保険配当金	7,226		23,608				7,226	
3. 消費税等免税益	2,565		823				3,509	
4. その他	1,612		4,348				2,213	
計	11,451	0.2	30,060	0.4	18,609	162.5	12,999	0.2
V 営業外費用								
1. 支払利息	21,553		26,658				26,582	
2. 新株発行費償却	1,601		15,381				12,406	
3. 消費税等免税損	8,595		—				8,595	
4. その他	—		170				20,931	
計	31,749	0.6	42,210	0.5	10,460	32.9	68,515	0.9
経常利益	201,051	3.5	702,704	9.3	501,652	249.5	241,903	3.2
VI 特別利益								
1. 貸倒引当金戻入益	821		832				620	
2. 新株引受権戻入益	2,454		—				2,454	
計	3,275	0.1	832	0.0	△2,443	△74.6	3,074	0.0
VII 特別損失								
1. 固定資産除却損 ※2	5,535		8,442				5,535	
計	5,535	0.1	8,442	0.1	2,906	52.5	5,535	0.0
税金等調整前四半期(当期)純利益	198,791	3.5	695,094	9.2	496,302	249.7	239,443	3.2
法人税、住民税 及び事業税	154,048		199,938				179,558	
法人税等調整額	△2,012		△88,817				△4,805	
少数株主利益	—		119,675				—	
四半期(当期) 純利益	46,756	0.8	464,297	6.1	417,541	893.0	64,690	0.9

(3) 第3四半期連結剰余金計算書

(単位：千円)

	前年第3四半期 (自平成14年10月1日 至平成15年6月30日)		当第3四半期 (自平成15年10月1日 至平成16年6月30日)		対前年 同期比	(参 考) 前連結会計年度の連結 剰余金計算書 (自平成14年10月1日 至平成15年9月30日)	
区 分	金 額		金 額		増減額	金 額	
(資本剰余金の部)							
I 資本剰余金期首残高		1,368,000		1,830,600	462,600		1,368,000
II 資本剰余金増加高							
1. 増資による新株の発行	—		1,304,074			462,600	
2. 株式交換による増加高	—	—	334,893	1,638,967	1,638,967	—	462,600
III 資本剰余金四半期末(期 末) 残高		1,368,000		3,469,567	2,101,567		1,830,600
(利益剰余金の部)							
I 利益剰余金期首残高		65,784		130,474	64,690		65,784
II 利益剰余金増加高							
1. 四半期(当期)純利益	46,756	46,756	464,297	464,297	417,541	64,690	64,690
III 利益剰余金四半期末(期 末) 残高		112,540		594,772	482,231		130,474

(4) 第3四半期要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年第3四半期 (自平成14年10月1日 至平成15年6月30日)	当第3四半期 (自平成15年10月1日 至平成16年6月30日)	対前年 同期比	(参 考) 前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書 (自平成14年10月1日 至平成15年9月30日)
区 分	金 額	金 額	増減額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益	198,791	695,094		239,443
減価償却費	2,557,241	2,772,722		3,443,298
賃貸資産処分原価	546,659	848,798		566,182
資金原価及び支払利息	159,386	136,244		214,187
固定資産除却損	5,535	8,442		5,535
売上債権の減少額	236,247	24,403		171,958
賃貸資産の取得額	△1,176,459	△1,724,351		△1,440,955
仕入債務の減少額	△25,071	△56,046		△4,379
立替金の増減額(増加：△)	518,388	△2,473		525,373
その他	△42,013	△188,393		29,930
小計	2,978,707	2,514,441	△464,266	3,750,575
利息の受取額	49	2,073		53
利息の支払額	△157,267	△136,212		△225,147
法人税等の支払額	△153,239	△171,387		△153,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,668,250	2,208,915	△459,335	3,372,246
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△33,129	△20,267		△36,885
無形固定資産の取得による支出	△153,687	△99,948		△170,525
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得	—	36,980		—
その他	△30,440	△33,566		21,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217,257	△116,800	100,456	△185,781
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金純増減額(減少：△)	△1,000,000	△2,433,757		4,340,000
長期借入金の返済による支出	△1,762,500	△472,500		△7,940,000
株式の発行による収入	—	2,557,018		707,636
少数株主に対する株式発行による収入	—	10,160		—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,762,500	△339,078	2,423,421	△2,892,363
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△34	△34	—
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△311,506	1,753,001	2,064,508	294,100
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	23,204	23,204	—
VII 現金及び現金同等物の期首残高	1,144,139	1,438,239	294,100	1,144,139
VIII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	832,632	3,214,446	2,381,813	1,438,239

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1. 四半期連結財務諸表は、企業会計審議会により公表された中間連結財務諸表作成基準に準じて作成しております。

2. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 8社

グッドローン(株)

ファイナンス・オール・サービス(株)

ウェブリース(株)

ホームローン・コンサルティング(株) (旧社名：イー・ローン・ダイレクト(株))

(株)テックタンク

ベリトランス(株)

(株)インターアイ…新規連結子会社

Finance All Solutions Co.,Ltd. …新規連結子会社

中間連結会計期間末（平成16年3月31日）と比較して2社増加しており、(株)インターアイについては株式交換により、Finance All Solutions Co.,Ltd.については新規設立により連結子会社となりました。

(2) 非連結子会社の名称等

(有)バイスマート

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、小規模であり、合計の総資産、売上高、四半期純利益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも四半期連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

3. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の関連会社数 0社

(2) 持分法を適用していない非連結子会社（有)バイスマート）は、四半期純利益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等からみて、持分法の対象から除いても四半期連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

有価証券

その他有価証券

時価のないもの…移動平均法による原価法

たな卸資産

商品……移動平均法による原価法

仕掛品…個別法による原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

賃貸資産については、リース契約期間を償却年数とし、リース期間満了時のリース資産の見積処分価額を残存価額とする定額法によっております。その他の有形固定資産は、定率法によっております。

無形固定資産

賃貸資産については、リース契約期間を償却年数とする定額法によっております。その他の無形固定資産は、定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

長期前払費用

定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(4) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(5) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項

繰延資産の処理方法

新株発行費は、3年間で每期均等額を償却しております。

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

5. 四半期要約連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

前年第3四半期末 (平成15年6月30日)	当第3四半期末 (平成16年6月30日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額は、5,205,728千円であります。	※1 有形固定資産の減価償却累計額は、7,401,237千円であります。
※2 賃貸資産は、当社グループの営業取引であるリース契約に係るものであります。	※2 同 左

(四半期連結損益計算書関係)

前年第3四半期 (自 平成14年10月1日 至 平成15年6月30日)	当第3四半期 (自 平成15年10月1日 至 平成16年6月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 (単位：千円)	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 (単位：千円)
従業員給与及び従業員賞与 234,919	従業員給与 375,028
広告宣伝費 339,974	広告宣伝費 673,815
減価償却費 163,889	減価償却費 217,879
※2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 (単位：千円)	※2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 (単位：千円)
建物及び構築物 4,213	器具備品 5,965
器具備品 1,322	ソフトウェア 2,476
計 5,535	計 8,442

(四半期要約連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前年第3四半期 (自 平成14年10月1日 至 平成15年6月30日)	当第3四半期 (自 平成15年10月1日 至 平成16年6月30日)
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成15年6月30日現在) (単位：千円)	1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成16年6月30日現在) (単位：千円)
現金及び預金勘定 832,632	現金及び預金勘定 2,805,852
現金及び現金同等物 832,632	有価証券勘定 103,213
	短期貸付金勘定(現先取引) 300,000
	流動資産のその他勘定に含まれる預け金 5,380
	現金及び現金同等物 3,214,446

第3四半期財務諸表

(1) 第3四半期貸借対照表

(単位：千円)

区 分	前年第3四半期末 (平成15年6月30日)		当第3四半期末 (平成16年6月30日)		対前年同期比		(参 考) 前事業年度の要約 貸借対照表 (平成15年9月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
1. 現金及び預金	315,274		1,345,965				614,682	
2. 売掛金	110,509		195,943				138,547	
3. 関係会社短期貸付金	1,920,000		4,113,757				1,110,000	
4. その他	18,875		16,089				23,114	
流動資産合計	2,364,659	56.9	5,671,755	71.3	3,307,095	139.9	1,886,344	51.2
II 固定資産								
1. 有形固定資産 ※1	23,700	0.6	16,189	0.2	△7,510	△31.7	21,670	0.6
2. 無形固定資産								
(1) ソフトウェア	222,341		156,019				207,277	
(2) その他	3,528		4,191				3,433	
計	225,870	5.4	160,211	2.0	△65,658	△29.1	210,711	5.7
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	21,000		—				21,000	
(2) 関係会社株式	1,501,765		2,059,012				1,501,765	
(3) その他	18,534		18,097				18,239	
計	1,541,299	37.1	2,077,109	26.1	535,810	34.8	1,541,004	41.9
固定資産合計	1,790,869	43.1	2,253,511	28.3	462,641	25.8	1,773,386	48.2
III 繰延資産	—	—	33,052	0.4	33,052	—	21,359	0.6
資産合計	4,155,529	100.0	7,958,318	100.0	3,802,789	91.5	3,681,090	100.0

(単位：千円)

	前年第3四半期末 (平成15年6月30日)		当第3四半期末 (平成16年6月30日)		対前年同期比		(参 考) 前事業年度の要約 貸借対照表 (平成15年9月30日)	
区 分	金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%		%
I 流動負債								
1. 関係会社短期借入金	1,260,000		—				—	
2. 短期借入金	—		1,510,000				—	
3. 未払金	90,285		139,419				143,469	
4. 未払法人税等	31,106		74,961				30,193	
5. その他 ※2	44,726		45,142				60,291	
流動負債合計	1,426,118	34.3	1,769,523	22.2	343,404	24.1	233,954	6.4
II 固定負債								
1. 長期未払金	99		66				66	
固定負債合計	99	0.0	66	0.0	△33	△33.3	66	0.0
負債合計	1,426,218	34.3	1,769,589	22.2	343,371	24.1	234,021	6.4
(資本の部)								
I 資本金	1,112,000	26.8	2,670,006	33.6	1,558,006	140.1	1,367,000	37.1
II 資本剰余金								
1. 資本準備金	1,391,678		3,158,826				1,854,278	
資本剰余金合計	1,391,678	33.5	3,158,826	39.7	1,767,147	127.0	1,854,278	50.4
III 利益剰余金								
1. 任意積立金	3,412		2,706				3,412	
2. 四半期(当期)未処分利益	222,220		357,190				222,378	
利益剰余金合計	225,633	5.4	359,896	4.5	134,263	59.5	225,790	6.1
資本合計	2,729,311	65.7	6,188,729	77.8	3,459,417	126.8	3,447,069	93.6
負債・資本合計	4,155,529	100.0	7,958,318	100.0	3,802,789	91.5	3,681,090	100.0

(2) 第3四半期損益計算書

(単位：千円)

区 分	前年第3四半期 (自平成14年10月1日 至平成15年6月30日)		当第3四半期 (自平成15年10月1日 至平成16年6月30日)		対前年同期比		(参 考) 前事業年度の要約 損益計算書 (自平成14年10月1日 至平成15年9月30日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増減額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	443,529	100.0	1,201,220	100.0	757,691	170.8	760,674	100.0
II 売上原価	—	—	—	—	—	—	—	—
売上総利益	443,529	100.0	1,201,220	100.0	757,691	170.8	760,674	100.0
III 販売費及び一般管理費	365,400	82.4	982,278	81.8	616,877	168.8	659,291	86.7
営業利益	78,128	17.6	218,942	18.2	140,813	180.2	101,382	13.3
IV 営業外収益 ※1	36,773	8.3	58,285	4.9	21,512	58.5	45,897	6.1
V 営業外費用 ※2	23,295	5.2	39,470	3.3	16,174	69.4	55,405	7.3
経常利益	91,605	20.7	237,757	19.8	146,151	159.5	91,875	12.1
VI 特別損失 ※3	—	—	4,275	0.4	4,275	—	—	—
税引前四半期(当 期)純利益	91,605	20.7	233,481	19.4	141,875	154.9	91,875	12.1
法人税、住民税 及び事業税	39,716		97,266				38,804	
法人税等調整額	△466		2,109				558	
四半期(当期) 純利益	52,354	11.8	134,105	11.2	81,750	156.1	52,512	6.9
前期繰越利益	28,711		223,084				28,711	
合併引継未処分利益	141,154		—				141,154	
四半期(当期) 未処分利益	222,220		357,190				222,378	

四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1. 四半期財務諸表は、企業会計審議会により公表された中間財務諸表作成基準に準じて作成しております。
2. 資産の評価基準及び評価方法
 - 有価証券
 - 子会社株式…移動平均法による原価法
 - 其他有価証券
 - 時価のないもの…移動平均法による原価法
3. 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産…定率法
 - 無形固定資産…定額法
 - なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
 - 長期前払費用…定額法
4. 引当金の計上基準
 - 貸倒引当金
 - 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
5. リース取引の処理方法
 - リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
6. その他四半期財務諸表作成のための重要な事項
 - 消費税等の会計処理
 - 税抜方式によっております。

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

前年第3四半期末 (平成15年6月30日)	当第3四半期末 (平成16年6月30日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額は、30,009千円であります。	※1 有形固定資産の減価償却累計額は、25,824千円であります。
※2 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、流動負債の「その他」に含めて表示しております。	※2 消費税等の取扱い 同左

(四半期損益計算書関係)

前年第3四半期 (自 平成14年10月1日 至 平成15年6月30日)	当第3四半期 (自 平成15年10月1日 至 平成16年6月30日)
※1 営業外収益のうち主要なもの 受取利息 34,884千円	※1 営業外収益のうち主要なもの 受取利息 57,613千円
※2 営業外費用のうち主要なもの 支払利息 23,295千円	※2 営業外費用のうち主要なもの 支払利息 24,905千円 新株発行費償却 14,564千円
※3 —	※3 特別損失のうち主要なもの 器具備品除却損 4,275千円
4 減価償却実施額 有形固定資産 2,275千円 無形固定資産 27,367千円	4 減価償却実施額 有形固定資産 5,084千円 無形固定資産 69,516千円